

第109号
ボランティア情報 ふじいでら
プラム

社会福祉法人 藤井寺市社会福祉協議会
藤井寺市ボランティアセンター
藤井寺市ボランティア連絡会
〒583-0035 藤井寺市北岡 1-2-8
TEL 072-938-8220
FAX 072-938-8221
E-mail fureai@silver.ocn.ne.jp
URL <http://www.fujiidera-shakyo.net>



震災後の南三陸町

“平成23年3月11日”

東日本大震災が起こって、1年になります。
この1年間、復興のために、何万、何十万ものボランティア
さんが現地に入り、様々な形で現地復興の一翼を担っています。
人を救えるのは、やはり人しかいないのかもしれませんが。
ボランティア活動を通して広がる人と人との温かな結びつき
が、様々な課題を解決する糸口になると、感じています。
それでは、3月のプラム、スタートです！

ボランティア活動保険
更新の時期が近づいています！

ボランティア活動保険は、活動中の万が一の事故に備えていただくものです。

◎補償期間：平成24年4月1日0時～平成25年3月31日24時

*いずれの時期に加入しても、補償期間の終了日・保険料は同じです。

*4月1日以降の申込みの場合、加入手続きを完了した翌日の午前0時から補償が始まります。

◎保険料：年間300円（1名1口のみ）NEW! *補償内容の違いはお問い合わせ下さい。
年間500円（1名1口のみ） *年間700円の天災担保付保険もあります。

◎窓口：社会福祉協議会のボランティア担当（総務地域福祉係）へ、保険料持参でお越し下さい。加入申込票に、住所・氏名・電話番号の記入をお願いします。

◎ボランティア自身が被った身体の障害に対する保険金（傷害担保事項）や、ボランティア自身が第三者の身体または財物に損害を与え、法律上の損害賠償責任を負担することによる損害に対しての保険金（賠償責任担保事項）が支払われます。

◎活動のための研修会、会議や活動場所への通常の経路による往復途上も含まれます。

自助活動（自己の利益を直接の目的にした活動、相互補助や親睦の活動）は、補償対象外です。

くちよボラ始めてみませんか？【くちよボラ・・ちょっとしたボランティアの略語】>

アルミ缶のプルタブ集めています。

藤井寺市ボランティアセンターと藤井寺市ボランティア連絡会では、アルミ缶のプルタブを集めています。

【アルミ缶のプルタブが貸出用の車イスに変わるまで】

アルミ缶プルタブ



藤井寺市商工会青年部

環公害防止協議会
関西支部



収益金の一部で車イス購入



藤井寺市社会福祉協議会
(藤井寺市ボランティアセンター)



貸出用の車イスに！

集められたプルタブは、藤井寺市商工会青年部を經由して、環公害防止協議会関西支部に送られます。環公害防止協議会では、収益の一部で車イスを購入します。その車イスが藤井寺市商工会青年部から、藤井寺市社会福祉協議会へ寄贈されます。

寄贈された車イスは、貸出用の車イスとして、高齢や障がい、ケガのために車イスが必要な市民の皆様に活用いただいています。

しかし、プルタブを1台のアルミ製車いすと交換するためには、なんと160万個（アルミ資源800キログラム）のプルタブが必要となります。

アルミ缶プルタブの収集ボランティアに、今後もより一層のご理解とご協力をよろしくお願いします。

平成23年度 ボランティア連絡会

茶話会 報告

平成24年2月16日(木)、毎年恒例のボランティア連絡会の茶話会が、福社会館の講座室にて行われました。ボランティア連絡会に所属している個人・団体が対象で当日は計48名の方が参加されました。有志の団体による活動発表見たり、お菓子・お茶をいただきながら、楽しい会となりました。当日・前日準備と、会の運営にあたり、多数のボランティアさんにご協力いただきました。ありがとうございました。



お手玉サークル遊



アロアロフラサークル



交流の様子



ジョイフルクワイア



NICE! 藤井寺バンド

大阪府市町村ボランティア連絡会 河南ブロック交流会

大阪府社会福祉協議会に所属している市町村のボランティア連絡会は、4つのブロック(河北・北摂・河南・泉州)に分かれていて、それぞれのブロックで、連絡会同士の交流会が行われています。藤井寺市ボランティア連絡会が所属している河南ブロックでは、年に2回当番市による交流会を実施しています。昨年11月には大阪狭山市で、この3月には松原市で交流会が行われました。3月3日(土)、松原市民ふるさとぴあプラザで行われた交流会には、82名の方が参加されました。

「ワールドコミュニケーション～ふれあいから絆へ～」というテーマで、パネリストの母国であるアメリカ、ケニア、フィリピンの各国のボランティア事情についての話を聴いたり、グループワークでは、テーブルごとに1つのテーマで交流するなど、充実した内容の交流会となりました。



お土産のマグネット

求む！ボランティア

(連絡先)

TEL : 072-938-8220

MAIL : fureai@silver.ocn.ne.jp

募集NO.31

一般、中高生や大学生のボランティア募集です。

活動内容：親・子（0歳～就園前）の集まりの見守り

お母さんが活動中の保育のお手伝い

日時：3月23日（金）正午～午後3時

実施場所：つどいの広場 ふじいでら（住所：藤井寺市小山9-1-16）

お問い合わせ・お申込みは直接発信者へ TEL : 072-936-0011

【つどいの広場スタッフ】



歴史上の人物③（社会福祉分野）



エリザベス1世（1533年～1603年）

イングランドとアイルランドの女王。1597年、最初の総合的な救貧法を成立させた（エリザベス救貧法）。貧困者への就労の強制や浮浪者の整理を目的とする。各地区で救貧委員を決めて救貧税をめて病気や高齢の貧民を救済する一方で、労働可能な貧民には強制に仕事をさせ、浮浪者は犯罪者として取り締まることにした。34年まで継続された。経済的理由による失業者をも「怠け者」として処罰した。

ボランティア用語集 NO. 5

⑬識字教育 (literacy education)

識字＝読み書きできること＝literacy。ユネスコでは、「日常生活における短い簡単な陳述の読み書きができること」と定義してきたが、最近では、単なる基礎的な読み書き能力にとどまらず、地域社会や生産活動の担い手として、社会参加していくうえで必要な知識、判断力、技能、態度、受容能力などまで含んでとらえられている。1990年の「国際識字年」をきっかけに、ユネスコとNGOを中心に識字教育が進められている。

⑭シニアボランティア (senior volunteer)

高齢者（シニア層）が、持っている社会的経験や専門技術、そしてゆとりある時間を活かして、社会のために役立ち、いつまでも生き生きとした人生を送ろうとして行う活動。

⑮社会福祉協議会 (council of social welfare)

社会福祉法に定められた、福祉関係の機関・団体により構成される民間の組織で、社会福祉法人。社会福祉を目的とする事業の調査、総合的企画、連絡・調整・助成、住民の福祉活動参加の援助などを実施しており、そのネットワークは全国に及ぶ。1997年の市区町村社会福祉協議会3370団体の法人化率は98.9%である

【問合せ時間】 月～金曜日（土・日・祝除く） 午前9時～午後5時30分